

## 「まちの駅・道の駅連携 おもてなしパスポート事業」

### 【事業目的】

会津地域の交流拠点である47か所の「まちの駅」と8か所の「道の駅」が相互に企業連携する事で、より広域的な地域間連携グループが構築され、地域ネットワーク型による情報発信を可能とした。

現在全国には1650ヶ所の「まちの駅」が地域の交流拠点として市町村に設置され、それぞれの地域間ネットワークの構築を模索している。全国の中でも会津地域の取組みは、複数の市町村にわたる広域的な「まちの駅」の設置、また「道の駅」との企業間連携という事では全国でも注目を集めている。

本事業「まちの駅・道の駅 おもてなしパスポート事業」は、会津エリアの「まちの駅」・「道の駅」の企業連携体を、冊子(パスポート)内にて紹介し、首都圏のみならず全国に情報発信する事により、着地型のおもてなし観光による「観光交流・物産交流」の促進と交流人口の増加を図る事を目的とするものである。

### 【事業実施状況、成果】

#### ①会津まちの駅・道の駅「おもてなしパスポート」の作成

地域の交流拠点として47か所の「まちの駅」と8か所の「道の駅」を紹介した冊子「おもてなしパスポート」を作成。

会津の広域MAPと共に各まちの駅と駅に常駐している案内人を紹介。地元ならではの地域情報、見どころ等を掲載した。

また、首都圏NPOが運営するアンテナショップ「生活の森・神田店」・「全国のまちの駅」・福島県が運営する「福島県八重洲観光交流館」等へ情報発信のツールとして冊子「おもてなしパスポート」を配布し、市町村のセクターを越えた企業間の物産交流を促進し連携を強化した。



#### ②月刊誌「コロンブス」に「会津べこのん通信」を連載

企業間連携の情報交流として月刊誌「コロンブス」に「会津べこのん通信」として会津の話題を6回にわたり掲載した。「会津べこのん通信」では、会津地域の旬な話題・食・イベント等を「まちの駅」の駅長が紹介し、観光交流人口の増加を図った。



#### ③企業間連携交流会の開催

会津地域の「まちの駅」「道の駅」の駅長を中心とした交流会を開催し、各地域が抱えている課題を互いが認識し、企業間の連携手法を模索した。

### 【今後予想される事業効果】

本事業により、会津地域の「まちの駅」「道の駅」は、ネットワーク型の大きな企業連携体として全国へ情報を発信する事で、「観光交流・物産交流」の促進が可能となった。

今後は、企業間ネットワークの強化は勿論のこと、物産交流の促進に重点を置き、首都圏の「道の駅」「まちの駅」で観光キャンペーンを開催し、物産販売を実施する。